



環境を守る、人を育てる。

札幌市の環境教育

次世代を担う子どもたちに豊かな環境を引き継ぐために



環境教育は札幌

検索

Sapporo Environmental Education

環境を守り、よりよい環境を次世代へ引き継ぐため、札幌市では環境教育を進めています。

いま、環境問題を取り巻く状況は大きく変化し、環境教育の重要性が高まっています。札幌市では「持続可能な社会をつくるため、環境の保全・創造に向けた意識を持ち、自ら考え行動する『人』と『人と人のつながり』を育てます」を環境教育の基本理念に掲げ、環境教育を進めています。次世代を担う子どもたちに環境問題の現状とその対策について正しく伝える、札幌市の環境教育の取組についてご紹介します。

札幌市環境教育基本方針

札幌市では、環境に配慮した行動が社会全体に定着し、次世代に継承されていくことを目的として、「札幌市環境教育基本方針」を策定し、環境教育を推進しています。

重点化するテーマ 地球環境問題への対応

重点化する3つの行動

「省エネ行動を進めます！」
「ごみ減量・リサイクルを進めます！」
「水とみどりを守り育てます！」

重点化する対象 子ども(学校)を対象

環境教育を進める
取り組みの柱

●プログラムの作成

●機会づくり・場づくり

●情報の共有・活用

●人材の育成

環境に関する学校教育を通して未来の札幌を見つめます

札幌市学校教育の重点

札幌市では、幼稚園教育要領、学習指導要領の趣旨に基づき、それぞれの園・学校が、創意ある教育活動を推進するために、「札幌市学校教育の重点」を示しており、その中で、平成21年度(2009年度)から共通に取り組む「札幌らしい特色ある学校教育」のテーマとして

北国札幌らしさを学ぶ 雪



未来の札幌を見つめる 環境

生涯にわたる学びの基盤 読書



の3つを位置づけています。

テーマの一つに「環境」が位置づけられたことで、環境教育の重要性が高まっています。

環境教育の取組状況や効果を定期的に評価・検証します

札幌市環境教育基本方針推進委員会

「札幌市環境教育基本方針」に基づく取組の確実な推進のため、そして施策の進捗状況や効果などを定期的に評価・検証するため、学識経験者や教師、公募市民などからなる「札幌市環境教育基本方針推進委員会」を設置しています。

この委員会において札幌市における環境教育の進行管理を行うとともに、環境問題に関する社会情勢や国内外の動向、札幌市の環境の現状などを考慮し、必要に応じて柔軟に基本方針の改善や見直しを行います。

「札幌市環境教育基本方針推進委員会」の
議事録や委員名については、
札幌市の環境教育ホームページでご覧になれます。

www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/

プログラムの作成

環境をテーマに副教材を作成し、札幌市内の小学校に配布します

札幌市環境副教材

札幌市内の小学生を対象に環境教育の推進を図るために、札幌市環境副教材を作成しています。毎年、改訂を行い、札幌市内の小学校(新1・3・5年生)へ配付し、各校で効果的に活用されています。

1・2年生用「ちきゅうとなかよくしてる?」



- 1.たのしい学校
(1) 学校のまわりはどんなところ?
(2) 学校たんけんをしよう
(3) きゅうしょくおいしいね
- 2.きせつをたのしもう
(1) そとにでかけよう
(2) 生きものにあおよう
(3) 冬をたのしもう
- 3.かぞくといっしょに
(1) おうちの中をのぞいてみよう
(2) かいものに行こう!
(3) ごみとしげんを分けてみよう
(4) いっしょにやってみよう

3・4年生用「地球にやさしくしてる?」



- 1.わたしたちのくらしと生き物
(1) 春は、どんな虫や植物が見つげられるでしょうか
(2) 夏は、どんな虫や植物が見つげられるでしょうか
(3) 秋は、どんな虫や植物が見つげられるでしょうか
(4) 冬は、どんな虫や植物が見つげられるでしょうか
- 2.わたしたちのくらしとごみ
(1) さがしに行こう、身近なごみ
(2) ごみを出そう!
(3) ごみをへらそう!
(4) ごみのゆくえ
(5) ごみ処理のいろいろな工夫
- 3.わたしたちのくらしと水
(1) 水のじゅんかん
(2) 川やダム働き
(3) きれいな水ができるまで
(4) よごれた水がきれいになるまで
- 4.わたしたちのくらしと雪
(1) 冬の生活
(2) 雪となかよくするために
いろいろな場所に行ってみよう!

5・6年生用「地球のためにできること」



- 1.地球の環境
(1) 地球温暖化
(2) 生物多様性の喪失
(3) 酸性雨
(4) オゾン層の破かい
(5) 森林の減少
(6) 地球を守るための国際的な活動
 - 2.身の回りの環境
(1) 札幌の環境
(2) 大切な空気
(3) 暮らしの中の音
(4) 雪と私たちの暮らし
(5) エネルギーと私たちの暮らし
- 自由研究
- (1) 調べてみよう!
 - (2) やってみよう!
 - (3) いろいろな場所に行ってみよう!

教員用手引書

教員用手引書は、学校における指導の手引きとしていただくため、教員の方々を対象として作成しました。



環境教育を効果的に行うための手引きとなります

札幌市環境教育プログラム

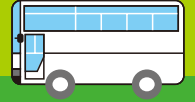
札幌市環境教育基本方針に基づき、環境教育を効果的に行うための手引きとして策定しました。「小学校編」、「中学・高校編」、「家庭・地域・職場編」の3つに分類されており、学校向けのプログラムを中心に紹介しています。

プログラムを活用することにより、3つの重点行動である「省エネ行動を進めます!」、「ごみ減量・リサイクルを進めます!」、「水とみどりを守り育てます!」を中心に、具体的な行動に移すことを目的としています。



環境関連施設見学のバスを学校に無料で貸出します

校外学習用バスの貸出



札幌市環境局では、平成19年度(2007年度)より市立の小中学校を対象に学級やクラスなどでの環境関連施設の見学用バスの無料貸出を行っています。環境教育の推進のため、市内の清掃工場やごみ処理施設、上下水道などに関する学習を支援しています。また平成28年度からは、札幌市外や企業の施設も見学できるよう拡充し、新たなコースを設定します。

平成27年度(2015年度)バス利用校の紹介(一部)



手稲鉄北小学校

手稲鉄北小学校の4年生は、創成川水再生プラザと下水道科学館を見学しました。水がきれいになっていく実際の過程を見学して、実際に目に見えない小さな生き物(微生物)の働きで水がきれいになっていくことや、たくさんの人手や時間をかけて処理されていることに驚き、水を大切にしなければならないという気持ちになりました。



あやめ野小学校

あやめ野小学校の4年生は、アイヌ文化交流センターや豊平川さけ科学館を見学しました。アイヌ文化交流センターでは、アイヌの人たちの文化や歴史を学ぶことで自然とのつながりを感じ、物を大切にすることや自然に対して感謝する気持ちを持つことができました。また、豊平川さけ科学館では、さけを通して環境に働きかけることの大切さを学びました。

[モデルコース名]
(平成28年度)

- 札幌の上水道について学ぶコース
- 札幌の下水道について学ぶコース
- 札幌の上下水道について学ぶコース
- 札幌のごみについて学ぶコース①②
- 廃棄物の処理について学ぶコース
- 札幌の自然について学ぶコース
- 生物多様性について学ぶコース
- 札幌の生き物、自然について学ぶコース
- 科学と環境について学ぶコース
- 札幌、アイヌの人々とサケのかかわりについて学ぶコース
- 環境とエネルギーについて学ぶコース①②③

札幌市における環境活動の拠点施設です

札幌市環境プラザ

www.kankyo.sl-plaza.jp/

環境プラザは、いろいろな環境問題について知ることや、考えることができる施設です。札幌市内中心部に位置し、様々な展示物を通して環境について学ぶことができるとともに、環境に関する情報を発信するなど、札幌市における環境活動の拠点施設としての役割を担っています。環境プラザでは下記のような事業を行っています。また平成27年4月には、展示物を一部リニューアルオープンしました。

- ・土曜日ワークショップ
- ・野あそびようちえん
- ・子どもエコクラブ交流会
- ・環境プラザがやってきた(地域のイベント等での環境に関する実験やゲーム)
- ・教員向け研修
- ・環境相談(NPOとの連携)
- ・市民団体協力事業(NPOとの連携)
- ・自由研究応援講座
- ・学生サポーター制度



インターネットを活用した環境教育への支援制度です

環境教育へのクリック募金

www.kankyo.sl-plaza.jp/bokin/

環境教育へのクリック募金制度は、環境保全活動に取り組む企業の皆様より寄附を募り、札幌の子どもたちのための環境教育資金を提供する、企業の社会貢献活動の仕組みです。

協力企業からの寄附金を原資に、市内の小中学校へエネルギー、自然環境、ごみ減量・リサイクルに関する「LED・蛍光・白熱球比較実験器」、「水の生き物観察セット」、「リサイクル体験学習教材」などの環境教育教材を寄贈しています。

(参加企業9社(平成28年3月現在))

募金の仕組み



表示される参加企業のバナーをクリックしてください。費用は一切かかりません。



あなたの代わりに参加企業が募金(1クリックにつき5円)を行います。



寄附金は、札幌市の子どもたちの環境教育を推進するために使用されています。

※参加企業各社の寄附上限金額は、月2万円としています。

札幌市内の小中学生が取り組む環境活動の発表会を開催しています

さっぽろこども環境コンテスト

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2015

さっぽろこども環境コンテストは小中学生が環境のために取り組んでいる活動の発表を行うコンテストです。活動を発表することで周囲の子どもたち、さらには大人たちにも活動の輪を広げていくことを目的として開催するものです。このコンテストは平成20年度(2008年度)から行われており、平成27年(2015年)は12月5日に札幌エルプラザ公共4施設3階ホールで開催しました。

児童会館の部2団体、小学校の部4団体、中学校の部7団体が参加し、環境に関する様々な取組が発表されました。発表会終了後には表彰式が行われ、最優秀賞、優秀賞のほか特別賞としてクリック募金特別賞が授与されました。

当日はステージイベントもあり、参加者は楽しみながら環境について学びました。また、最優秀賞受賞団体は市長の前で報告会を行いました。



スポーツなどを通して環境への興味を高めるイベントを開催しています

かんきょうみらいカップ

「かんきょうみらいカップ」は、スポーツ・レクリエーションなどの活動を通して、環境保全活動に興味を持って楽しく取り組んでもらうことを目的に平成16年度(2004年度)から開催しています。「かんきょうみらいカップ2015」は、平成27年(2015年)7月27日に札幌サッカーアミューズメントパークで開催され、32チーム236人が参加しました。参加カテゴリー別にフットサルのリーグ戦を行い、環境クイズや、リレーゲーム「みんなでエコリレー」を行いました。参加した子どもたちは考え、行動し、チームワークで環境の問題に挑みました。さらに自分が体験したことや取り組んでいる環境活動を「環境体験・活動カード」に書いてもらいました。

またサッカーの他に、札幌卓球連盟と共催の卓球大会も実施しており、約900人の小中学生が参加しました。



かんきょうみらいカップ
2015



子どもたちが家庭のエコリーダーに

夏休み・冬休みエコライフレポート

夏休み・冬休みエコライフレポートは、子どもたちが家庭でのエコ行動の声掛け役となり、継続してエコ行動を意識し、実践してもらうことを目的として、市立小中学校の夏休みと冬休み前に身近なエコ行動をチェックするものとして、平成19年度(2007年度)より全市立小中学生に配付しています。

平成24~26年度(2012~2014年度)は、「節電スペシャル」として節電の取組を推進してきましたが、平成27年度は節電に加えて、ごみ減量や節水の取組なども含めて実施した結果、市立小中学生のうち、夏休みは94.4%、冬休みは94.0%の子どもたちがエコライフレポートに取り組んでくれました。



環境教育に関する情報をわかりやすくお知らせします

ホームページによる情報提供

札幌市環境局の「札幌市の環境教育」のホームページ、そして札幌市環境プラザのホームページでは、札幌市の環境教育に関する情報や様々な環境関連の情報をわかりやすく提供しています。ホームページならではの迅速かつ豊富な情報提供によって、環境教育を推進していきます。

札幌市の環境教育 www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/
 札幌市環境プラザ www.kankyo.sl-plaza.jp/
 札幌市教育委員会 www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/sappororashiisuishinzigyou.html

平成22年度(2010年度)から、全ての市立幼稚園・小中高等学校は「さっぽろエコスクール宣言」に取り組んでいます。教育委員会では各園・学校における環境に関する取組の様子を、順次HPで公表しています。



特色のある環境活動の取組177事例を紹介しています

学校における環境教育の実践事例集

「学校における環境教育の実践事例集」は、学校における環境活動をはじめ、子どもたちの自主的な活動や、学校と地域などが結びついた活動などをまとめたもので、ごみ分別・資源物回収、リサイクル、ソーラーパネル、委員会・児童会、地域と協働などの取組について、参考になりたい事例がわかりやすく検索できるようになっています。

実施校からのメッセージも掲載しており、学校で取り組んでいるさまざまな活動をさらに充実させる、また、新たな活動に取り組むきっかけとして活用されています。



小中学生に環境情報を伝える壁新聞を発行しています

かんきょう元気新聞

この新聞は平成21年(2009年)から発行し、当初は札幌市立小学校の4~6年生のクラスに、平成23年(2011年)からは小学校の全学年と中学校に年2回配付していましたが、平成27年(2015年)に最終号となる第16号を発行しました。

最終号は保存版「エコスポットに出かけよう!」と題して、藻岩山やモエシ沼公園などの市内5か所の環境スポットについて、これまであまり知られていなかった意外な魅力や見どころを紹介しました。

平成27年で事業は終了となりますが、今後も、夏休み・冬休みエコライフレポートなどを通して、子どもたちへの環境情報の発信を行っていく予定です。



学年にあわせて、3つのパターンで紙面を作成しています。

環境関連施設と連携を図ります

環境関連施設の連携強化

札幌市環境プラザは札幌市における環境保全に関する活動の総合的な拠点施設としての役割を担っています。この環境プラザと市内の環境関連施設が連携を図り、情報共有や連携事業について強化していくために、施設担当者による「環境関連施設の連携強化のためのプロジェクト会議」を開催しています。学校での校外学習の参考となる環境関連施設でのモデルコースを作成するなど、プロジェクトの成果があらわれています。



「環境関連施設の連携強化のためのプロジェクト会議」参加施設

- 札幌市環境プラザ
- 札幌市豊平川さけ科学館
- 札幌市博物館活動センター
- 札幌市青少年科学館
- 札幌市リサイクルプラザ
- 札幌市内公園
- 札幌市下水道科学館
- 定山溪自然の村
- 札幌市内清掃工場
- 札幌市円山動物園
- 札幌市水道記念館
- 札幌市北方自然教育園



環境教育の担い手を育てます

札幌市教育センターにおける研修

札幌市教育センターは、札幌市の教育推進目標「未来を切り拓く人間性豊かで創造性あふれる自立した札幌人」の実現に向け、今日的教育課題を明確にするとともに、解決の手立てを構築し、研修・研究・相談などを通して教育活動の推進に寄与しています。

様々な研修の中で「教育課題研修コース（環境教育I～III）」や「教職基礎研修コース（環境教育の基礎）」といった、環境教育に関する専門的研修講座を設け、学校における環境教育の実践を推進するための教員研修を実施しています。



札幌市教育センター（ちえりあ内）

環境に関する研修会講師と自然観察会の講師を派遣します

環境保全アドバイザー・環境教育リーダー

環境保全アドバイザー・環境教育リーダー制度は、市民が自ら環境教育活動を進められるように、環境問題に対する意識を深めながら環境保全活動に係る取組を支援していく制度です。派遣を通じて様々な人が中心となって活動の場を広げていくことを目指しています。

環境保全アドバイザー

「環境全般」「都市と環境」「消費生活と環境」「水辺の環境」「自然観察・自然保護」「アイヌ文化と環境」「外国の環境保全」「環境教育」の8つの分野の専門家を、「環境保全アドバイザー」として無料で派遣します。対象となるのは、地球環境、自然保護、リサイクル、ごみ問題などをテーマにした研修会、学習会などです。講師は、環境保全活動における各分野の専門家です。

環境教育リーダー

「札幌市環境教育リーダー派遣制度」は、人材派遣を通じて、学校や市民の皆さんによる自主的な環境教育・学習を支援する制度です。対象となるのは、植物、野鳥、昆虫、水生生物などの自然観察や温暖化、ごみ、エコライフ分野の指導、解説などです。講師は、市が実施する「環境教育リーダー育成研修会」を終了した方々で、リーダーの居住区近辺への派遣を基本とします。

環境保全アドバイザー・環境教育リーダーのプロフィールや派遣の手続きなどについては、環境プラザ配布のパンフレットに掲載しています。



申込提出先 〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ2F 札幌市環境プラザ TEL011-728-1667 FAX011-728-1400

小中学校にエネルギーに関する環境教育を推進しています

エネルギーに関する環境教育の推進

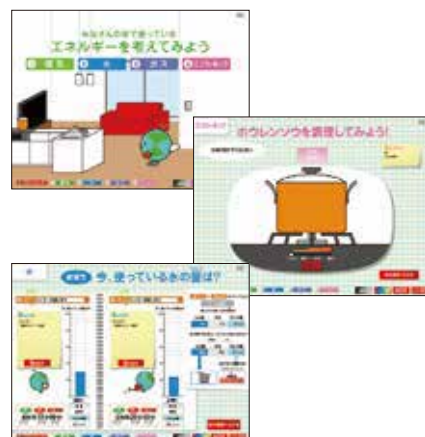
学校におけるエネルギーに関する環境教育を推進するため、札幌市内の学校に電気などの使用量を「見える化」するための表示設備を整備しました。エネルギーなど環境について自発的に考え行動できる人材育成とともに、学校から家庭・地域へ節電などの取組が広がることを目指しています。札幌市立百合が原小学校、札幌市立平岸中学校、札幌市立南郷小学校の3校で整備を行い、これらの学校では子ども達のエネルギーを考える力を育てる授業が始まっています。

また、設備設置校の取組をうけて、エネルギーの使用量について学べる教材を作成し、ホームページで公開しました。

URL:http://www.kankyo.sl-plaza.jp/energy_visualize/

エネルギーの使用量「見える化」設備

エネルギーの使用量学習教材





未来の札幌を見つめる【環境】
イメージキャラクター「ちっぎゅん」

札幌市環境局・札幌市教育委員会

〒060-8611
札幌市中央区北1条西2丁目
札幌市役所本庁舎12階

TEL 011-211-2877
FAX 011-218-5108
E-Mail: kan.suishin@city.sapporo.jp

〈平成28年3月作成〉